



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
 ■会長：福本良平 ■副会長：植村将史 幹事：高辻良成

発行日 / 2014年11月4日
2014-2015/16

Vol.36

No. 1716

hp: <http://naraomiya-rc.jp>
 E-mail: info@naraomiya-rc.jp
 2014-15年度当クラブテーマ

『ロータリアンとしての
誇りをもって』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 北河原 公敬

「ロータリーは心くぱり」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長報告

☆本日臨時理事会を開催致しまして、11月3日に行われます社会奉仕委員会奉仕活動の吉野間伐材デザインベンチ表彰式・除幕式をMake Up扱いと致しますので、是非ご出席の程、よろしくお願い致します。

☆先週IMがございました。多数のご出席本当に有難うございます。そのIMに先立ちまして会長懇談会というのがございました。そこで決まったことをご報告いたします。

・来年のIMは五條ロータリークラブが主催で、来年11月7日(土) 橿原ロイヤルホテルで行われる予定になりましたので、その節は是非ご出席お願い致します。

・ガバナーからご挨拶が有りまして、これはまた公式訪問でガバナーがお話になるかもしれませんが、東北秋田の地区大会で記念講演をして欲しいとのことでご出席された際、大会前のRI会長代理の懇親会で会長代理が横にお座りになりお話をされている時に、その方が元米山奨学生であったということで、元奨学生の方がそういった立場でお越しになられたということにびっくりされました。その時にRI会長代理は台湾の方でも奨学生を受け入れる形をいまとっており、日本から反対に3名ほどの奨学生に来て頂くように受け入れをしておる、というお話がございました。

・ガバナーエレクトの中澤さんから来年の公式訪問について、一つずつ回ると大変なので、合同例会という形を取って頂き、明るく楽しく公式訪問で来たら良いという意見がございました。

委員会報告

社会奉仕委員会：中篤委員長

今年度の社会奉仕事業のメインイベントでありますアートベンチのデザインコンクールを11月3日文化の日で祝日ではございますが、14:00に開会致します。高校生また学校関係者・父兄を呼びまして

例会プログラム

第17回11月4日

通算1716回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「君が代」
「4つのテスト」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. ミリラニサンライズRC
来訪
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第16回 10月28日
通算1715回

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 11名
 ◎出席者 60名
 ◎出席率 84.51%

第14回 10月14日
通算1713回の修正

◎会員数 78名
 ◎出席規定免除者数 2+25名
 ◎出席義務者数 51名
 ◎欠席者 8名
 ◎補填者 2+8名
 ◎出席者 73名
 ◎出席率 100%

表彰式を開催致します。出来るだけたくさんの方にご出席頂きますよう宜しくお願い致します。それと社会奉仕委員会の方には特にお願いしたいのですが、10：00に文化会館へ作品の搬入作業がありますので、出来るだけ若い方にお手伝い頂ければ有難いと思っております。例会終了後あまり時間はとりませんので、社会奉仕委員会を開催致します。尚、当日は先ほど会長からもありましたがMake Up扱いになりますので、よろしくお願い致します。

青少年奉仕委員会：水野委員長

いよいよ明日になりました10月29日三笠中学校に於きまして、一年生を対象に「労働に学ぶ」の授業と、二年生を対象に職場体験学習に向けてということで授業の予定をしております。時間につきましては、明日13：10～一年生に対しましては15：00まで、と二年生に対しましては13：10～14：00までとなっております。尚、当日につきましてはMake Up扱いになりますので奮ってご参加を頂けましたら、と思います。どうぞよろしくお願い致します。

植倉前年度幹事

本日皆様方の状差しに2013-14小西年度の年間報告が出来上がりましたので、入れさせて頂きました。是非お持ち帰り頂き、ご一読頂きたいと思っております。ありがとうございました。

幹事報告

- ・IMについて、今年は出席カードがプログラムの裏側に印刷されておりまして、当日回収できませんでした。どなたが出席されているか100%把握できていない所もございますので、今日もしくは来週事務局にお持ちください。もし紛失された方がおられましたら口頭で結構ですのでお申し出ください。
- ・クールビズ（期間）ですが、見渡すところもう（クールビズなのは）私ぐらいですが、クールビズは今日で終了となりますので、来週からはネクタイ着用で例会出席をお願い致します。
- ・状差しには入れてありますが、来年2月4日に「ジャパン・ロータリーデーⅡ in東京」が開催されます。平日ではございますが、参加希望の方はお申し出下さいませようよろしくお願い致します。
- ・次週はミリラニ・サンライズRCより10名お越しになります。人数の都合上、次週は下の（階の）「大和の間」で例会開催となりますので、お間違いなき様お願い致します。

ロータリー語録

「世界はロータリーを必要としている」
(ニース1995年国際大会 R.I. 会長 ビル・ハントレー)

㈱南都銀行 ホッケー部 眞鍋敬子様
「私とオリンピック」



本日は、各分野でご活躍されている皆様方の前でお話させて頂く貴重な機会を頂きまして、心より感謝しています。本日、卓話講師としてお呼び頂きましたが、専門はフィールドの上を走り回ることでして、大勢の方の前で話すことには慣れていないので、至らない部分や不備な部分があるとは思いますが、温かく最後まで聞いて頂けたら、と思います。本日は宜しくお願い致します。「私とオリンピック」という標題でお話させて頂きます。話の流れとしては、日本代表としての6年間の経験の中で、常に目標としてあった「オリンピック」とどう関わってきたか、というのをお話させて頂きます。

先程ご紹介頂いたプロフィールの補足を少しだけさせて頂きたいと思います。資料をお配りしていますが、毎日新聞の記事で、ちょうど私がホッケーを始めた理由やホッケーとの出会いなどを簡単にまとめて下さったものがあるので、それを読ませて頂きます。この記事は、先日行われた韓国の仁川アジア大会に向けて行った取材の分です。《岐阜県可児市出身。中学時代はバスケットボール部だったが、154センチ・・・の身長から限界があると考えた。教師の勧めで「身長が低くてもトップを目指せる」とホッケーへの転身を決めた。強豪校の岐阜県立岐阜女子商業高校・・・に進んだ。高校1年の冬でレギュラーになり、全国優勝を6回経験した。東海学院大学・・・を経て、日本代表に初めて選ばれた09年に南都銀行・・・に入行した。》、《12年のロンドン五輪では悔しさが残った。女子マラソンの高橋尚子さん（岐阜県出身）がシドニー五輪で優勝したのに憧れ、中学生の時は周囲に「オリンピックに出る」と目標を語っていた。その夢舞台に立ったが成績は9位と振るわず、「世界の上位チームとの差を痛感した」と振り返る。「次のリオから（20年の）東京五輪につながる。まずはアジア大会で力を出し切り、一生懸命走りきる。」》、《ポジションはディフェンスで、スピードとパワーを生かした力強いプレーが特徴。》（毎日新聞 2014年9月23日 地方版）です。あとは、趣味というか、好きなこととして、きれいなもの、例えば、景色であったり、舞台であったり、そういうわくわくするようなものが好きです。

それでは、ホッケーという競技を知らない方が多いと思うので、準備した映像を見て頂きたいと思います。少し古い映像ですが、2006年にドイツで開催されたワールドカップの試合の様相です。男子の試合ですけれども、（ホッケーの試合の映像が流れる）、サッカーとすごく似ている競技ではありますが、ボールのスピードが格段に速く、ボールをスティックでさばく細かい技術が必要で、あとはヨーロッパ特有ですが、観客の多さというのが特徴で、ヨーロッパではとても人気のあるスポーツで、メジャーなスポーツと言えらると思います。ボールが少し見えにくいと思いますが、それだけボールのスピードが速いということです。今、このタイミングで試合が終了しましたが、ワールドカップの最後の試合ともなると、これだけ激しく、観客も盛り上がるスポーツです。（ここで映像終わり）ホッケー界では、今見て頂いたワールドカップとオリンピックが2大会とされていて、そこで活躍し、栄冠を得るために、日々しのぎを削っていると言えます。

それでは、ここから、私のロンドン・オリンピックに向けての歩みを見て頂きたいと思います。私は、先程の紹介にもありましたが、2009年に日本代表に初めて挑戦しました。挑戦した理由ですが、高校からホッケーを始めて、偶然、同じチームに、高校2年生で日本代表入りを果たし、高校3年生でアテネ・オリンピックに選出され、そしてその4年後の北京オリンピックにも

引き続き出場した選手が、すごく身近にいて、高校、大学と同じ進路だったのですが、その選手が、常に横で、すごく高い高みを目指して頑張っている姿を見ていて、初めは、単純に、“すごいなあ”と思っていたのですが、次第に、“自分も頑張りたい”、“この同じ場所でプレーしてみたい”と思うようになり、“追いつきたい”“追い越したい”と思うようになったので、私も日本代表に挑戦したいと思うようになりました。ただ現実には甘くなくて、日本代表に選出して頂きましたが、技術も、体力も、精神力も、全てにおいて私はとても未熟で、レギュラーからは程遠く、その当時の代表の練習メニューというのは、ランニング・トレーニングが中心のすごく激しいハードな練習が多かったのですが、常に、“しんどい”とか、“辞めたい”とか、“逃げ出したい”という思いが頭に浮かんでしまうような状態が続いていたのを、よく覚えています。その時に一番苦労したというか、今振り返ってすごく大変だったなと思うのが、自分の未熟なところを自分でなかなか受け入れることができずに、監督や先輩から注意を受けても、なかなか素直に受け入れられずに、突っぱねてしまうというか、悔しくて受け入れられないという状態があって、すごく自分の成長を妨げていたなと、今振り返れば、そう思うことができるのですが、当時はすごくツツツンしていたなと、少し反省しています。

そんな未熟な状態でしたが、一つだけ、この時に心に決めていたことがあって、それは、いくら自分が未熟であっても、当時の監督に見限られるまでは絶対に自分からは辞めないと決めて、それだけで、最後までつらい練習も乗り越えていけたと思います。転機となったのが、2010年8月のワールドカップに出場したことでした。この大会で初めて世界のトップクラスの選手と試合をしました。当時の日本の世界ランキングは8位で、それまでは同等かそれ以下のチームと試合することがほとんどでしたが、ワールドカップということで、世界の1位から、本当にトップのレベルの相手と、そこで初めて試合をしました。その時にトップ・プレーヤー達の姿を見て、今までの自分のスケールの小ささ、目指していたものの小ささというのを初めて痛感して、衝撃を受けました。世界の選手達が、縦横無尽に、自由に、フィールドの中を走り回る姿を見て、自分もこれぐらい自由にホッケーをしたいな、と強く思って、その時に、私は、身長が低いのがすごいコンプレックスだったのですけれど、身長の低い私でも、世界に通用する、注目されるようなプレーヤーになりたいと、すごく強く思うようになりました。そうなるためには、こういうワールドカップのような、すごくレベルの高い大会に出なければならぬと痛感して、この時に初めて、2年後、2012年に開催されるオリンピックに出たいと強く思うようになりました。ここで初めてオリンピック出場を意識するようになりました。その当時、オリンピックに出場するためのチャンス、出場権を獲得できるチャンスというのは、2010年11月のアジア大会を1位で通過することでしたが、この大会では3位という結果に終わって、出場権を獲得することはできませんでした。ここで出場権を逃したので、オリンピックが行われる2012年8月の3か月前である2012年4月に行われるオリンピック最終予選を6か国中1位で通過しなければ、もうオリンピックに出ることはできないという状況になりました。それで、アジア大会で敗戦が決まってからこの最終予選まで1年半程あったのですが、この期間のトレーニングというのが、とてもハードなもので、私のホッケー人生の中で、一番、もう戻りたくないというか、思い出したくもないような、本当につらいトレーニングでした。今日、一緒に来ている大塚（選手）も、一緒にこの期間を頑張った仲間ですけども、多分、彼女も、思い出したくないくらいしんどかったと思います。そういうトレーニングの時に、本当に、何度も、“こんな所から早く逃げ出したい”とか、“明日が来るのが怖い”とか、“辞めたい”とか、本当に日々思っていました。本当に辞めるという決断に至ることは絶対になくて、その理由というのが、やはり、同じ目標に向かっていて仲間がすぐ隣にいるということで、厳しいトレーニングで走っていても、横を見たら、同じように歯を食いしばって走っている仲間がいて、そういう仲間を置いて自分だけそこから離れる、その夢をあきらめていくっていうことは、絶対に許されないというか、“自分は絶対にやっちはいけない”とすごく思って、“つらいけど、ここは皆がいるから絶対に乗り越えていきたい”と強く思って、トレーニングに臨んでいました。そして迎えた最終予選を無事に1位通過することができて、オリンピックの出場権を獲得することができました。最終予選で優勝してからオリンピックに行くまでにメンバー選考というのがあり、そこからさらにメンバーが絞られることになっていました。厳しいトレーニング期間を乗り切ったのが20人、そこから最終予選に参加できたのが18人、そこからオリンピックに参加できるのは16人ということで、トレーニングの時から4名がオリンピックに出場することができないという厳しい現実がありました。自分はオリンピックに出場する選手に選んでもらうことができました。嬉しさもありましたが、一緒に行くことができない選手がいるという現実もあって、素直に心から喜べない、という思いや、行けない選手の気持ちも背負って頑張らなければいけないという気持ちをすごく感じて、オリンピックに臨みました。

オリンピックの結果は9位ということで、なかなか良い結果とは言い切れない成績でしたが、学べたことがたくさんありました。うまく言葉にできないのですが、一番衝撃を受けたのは、

メダルのかかった試合に出場している選手が試合で見せた気迫でした。それはすごく印象に残っていて、その映像があったら良かったのですが、準備できなかったのですが、1点を取るために、ボールに飛び込んでいく姿であったり、ゴールさせないためになりふり構わず身体をはって止めに行く姿であったり、というのが、やはり、今まで見てきた大会とは全く違うと感じました。見ていた中で、すごく覚えているシーンがあるのですが、シュートを打たれる瞬間に身体をはって止めに行った選手の頭に、振り上げていたスティックが当たってしまったことがあって、それで、その瞬間、試合が止まって、その選手は流血して、フィールドから運ばれてしまったのですが、試合の後半になって、その選手が頭を処置して、包帯というか、バンドをグルグル巻きにして、またフィールドに帰って来たという姿を、この目で見ました。オリンピックというのはこういう場なのだなと、すごく感動し、また、衝撃を受けたのを覚えています。本当は、そういう場に自分が立つことが一番幸せなのだろうなと思うのですが、それを出来なかったことに対して、結果に対してもですが、そこまで行く準備が今までできていなかったことに対して、すごく悔しいな、と感じました。

オリンピックを終えて3ヶ月後、2012年11月に監督が新しくなり、新体制で日本代表が始まりました。その時、私がもう一度日本代表になって、今までの、ロンドンに向けて努力してきたことを証明してやりたいとか、自分達がやってきた4年間は間違っていなかったということ証明したいという思いと、日本がより上位チームに食い込んでいくために、自分に必要な技術や戦術であったり、知識であったり、精神力であったりというのを、しっかり、さらに、より強く身に付けていきたいという思いで、もう一度、日本代表に挑戦しました。そこで、またもう一度、日本代表に選出して頂くことができ、新たな道がスタートしました。

時間も迫ってきているので、一番伝えたいことを最後に言わせて頂きたいと思います。やはり、こういう大きな舞台に臨むために必要なものというのは、ホッケーで言ったら、技術、経験、精神力というのはもちろん絶対に必要ですし、それらがないと、ほとんど高いレベルには行けないのですが、それ以上に必要なものというのがあって、私が感じたのは、共に歩むチームメイトであったり、自分を後押しして下さる家族や、今で言えば南都銀行の自分の所属の存在であったり、今まで自分を育てて下さった指導者の方々であったり、そういう方々の全ての支えがないと、自分はそういう大きなものには挑めなかったということです。この6年間、ホッケーをしてきて、自分が一番成長できた、一番得ることができたと思うのが、「責任感」ということですが、日本代表に入ったばかりの頃というのは、自分の気持ちばかりを優先して、チームのことを考えるというよりも、自分がどうしたい、ああしたい、という方が強かったのですが、次第に、私は南都銀行の代表としてここにいるのだ、とか、オリンピックを経験した私が今すべきことは何なのか、私の役割を全うするためには今どうしたらいいのか、と次第に考えるようになり、そう考えることによって、物事への取り組み方が自分の中ですごく変わるように思いました。時には、それがプレッシャーになって行き詰ったりすることもあります。自分が何をすべきかということをとことん考えて、やるべきことに対してしっかり努力して、それを全うできるように努力していくことで、絶対に最後には良い方向に向いてくれると思っています。最後になりますが、私には、今までに、辛くて立ち直れない、すごく苦しい時期がありましたが、そこで、いつも心にポッと出てくる言葉があるのですが、それは、「『この場に立てる喜び』を忘れないこと」という言葉です。これは母からもらった言葉ですが、なぜ私が今ここにいるのか、この場に立てるってどういうことなのか、ということを考えていたら、つらいことでも、いまこの状態に感謝して前に進んでいかなければならないと思うことができるので、この言葉を、今後も、自分の進む上で大事にしていきたいと思っています。こうして頑張っていくことが、次のオリンピックの出場やその4年後にある東京オリンピックにつながっていくと思うので、確実につらいことが待っているとは思いますが、仲間と様々な支えとこの言葉と一緒に前に進んで行きたいと思っています。

最後までご静聴、有難うございました。



本日計 45,000円 累計 914,000円

- | | |
|--------|--|
| 福本良平 君 | IM 多数の出席ありがとうございました。 |
| 高辻良成 君 | IMご出席の皆様、長時間にわたりおつかれさまでした。本日は米山月間の最終例会です。ご寄付よろしく願いいたします。 |
| 矢追家麻呂君 | 今月は米山月間です。お忘れの方はよろしく願いします。 |
| 土谷宗一 君 | 南都銀行ホッケー部のみなさん、本日の卓話御苦労様です。 |
| 野崎隆男 君 | 結婚記念日のお花ありがとうございました。家内も喜んでおりました。 |
| 有井邦夫 君 | 例会欠席のお詫びに！公式訪問も72RC終了しました。 |
| 潮田悦男 君 | 前回欠席のおわび |
| 佐川 肇 君 | 10月18日～21日まで開催された長崎国体で県立山辺高校の長部谷響（ちょうべやきょう）選手が見事少年の部で優勝しました。インターハイと2冠です。男子の優勝は十数年ぶりです。 |
| 中條章夫 君 | ちょっとうれしい事がありました。ニコニコ |
| 石野捨雄 君 | チョット良い事がありました。 |
| 中奥雅巳 君 | ニコニコ協力 |
| 西本隆一 君 | ニコニコ協力 |
| 鈴木 讓 君 | ニコニコ協力 |
| 森山斗福 君 | ニコニコ協力 |
| 植倉一正 君 | ニコニコ協力 |

例会変更のお知らせ

11 月

- 桜井ロータリークラブ■
 - ・11月12日（水）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。
- 奈良西ロータリークラブ■
 - ・11月13日（木）・・・定款第6条第1節（C）により、休会。
 - ※ビジター受付：行いません。
- 奈良ロータリークラブ■
 - ・11月20日（木）・・・移動例会に変更。
 - ※ビジター受付：12：00～12：30まで奈良ホテルにて行います。
- 生駒ロータリークラブ■
 - ・11月19日（水）・・・職場見学・家族親睦移動例会の為、変更。
 - 場所：あべのハルカス会議室
 - ※ビジター受付：行いません。

次週の例会

平成26年11月11日（火）

クラブ討論会（ロータリー財団委員会担当）
卓話 地区財団補助金委員会 委員 中窪 啓司 様（平城京RC所属）